

日時・場所	平成28年5月30日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、川端教育長、立入議会事務局長、寺田政策調整部長、大藤政策調整部政策監、遠藤総務部長、上田市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、白井環境経済部長、藤池教育部長、野玉会計管理者、服部広報秘書課長、事務局（企画調整課）

## 1. 市長指示事項

- 市議会定例会が今週から再開され、一般質問等への答弁があるが、従来から指示しているように、できるだけ確に質問の核心をついて、建設的なやり取りができる答弁にすること。
- 国では、消費税率の引き上げを延期する方向になっているようだが、税金は負担ではあるが、税金によって福祉や安全等の公共サービスが提供できている。一方的な負担感や景気への懸念だけが前面に出ており、税金が市民や国民のための公共サービスに還元されているという位置付けがなされていない。私たちは税金で仕事をしているので、必要な税収入がないことで仕事ができなくなるというよりは、公共サービスが滞ってしまう。消費税率の引き上げを前提に、子育て支援等の社会保障に関する施策がすでに始まっているので、現場からは懸念が出ると考えられる。消費税率の引き上げが延期されると一層財源が厳しくなるが、国の施策を批判するのではなく、安全等の公共サービスを守る観点から、事業の展開や予算の執行を改めて確認したうえで取り組んでほしい。
- 職員が市役所の公共スペースで昼食をとっていたことがけしからんという市長への手紙が届いた。昼休みに職員が市役所の公共スペースを使用することは非難されることとは思わないし、むしろ市役所内は職員が休憩できるスペースが不足しており、自席で昼食をとらざるを得ない等劣悪な環境である。合併前の検討が不足していたため現状のようになっており、本来はそこに問題がある。本意見に対しては、「職員に注意をした」と同調する回答原案になっていたもので、再検討するよう指示をした。市役所は執務スペースも狭いし休憩室も十分でないが、他の公共施設整備を優先して、市役所本体の改善に向けた対応は後回しになっていることを前提に、むしろ執務環境の方が悪いといった認識の転換を図り、特に幹部職員は配慮するよう気をつけること。

## 2. 報告事項

なし

## 3. 協議事項

なし

## 4. その他伝達事項

- （仮称）野洲市民病院の整備事業に関して、5月26日に市議会議長から、県の意見が付された総務省様式「平成28年度公立病院の新設・建替等に関する調書」の情報提供の要請があったことを受け、5月27日に市議会議長あて情報提供をした。この対応は異例であり、本来は総合調整会議と部長会議を経るといった適正な手続きを踏んだうえで情報提供をする案件である。議会には本要請をすることの責任の重大さを認識してもらう必要がある。もともと6月の全員協議会または都市基盤整備特別委員会で報告する予定をしていたので、次回総合調整会議と部長会議で今回の経過も含めて報告する。
- 6月5日（日）に、やすまる広場でポスターセッションを予定しているので、担当部長の対応をお願いする。
- 人事評価制度における業績評価シートの入力作業を今月中にお願いする。
- 5月29日（日）、あやめ浜、マイアミ浜周辺で「ごみゼロ大作戦」を実施し、市民・団体約700名に参加いただいた。

## 5. 次回部長会議

6月6日（月） 8時45分～ 庁議室